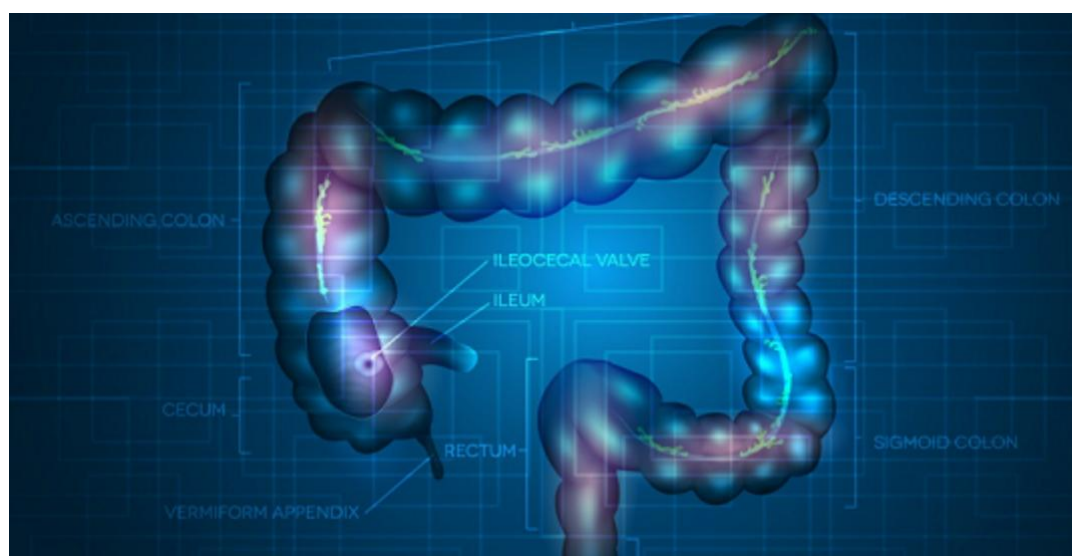


大腸癌新規バイオマーカーと 大腸内視鏡検査の組み合わせに ついて

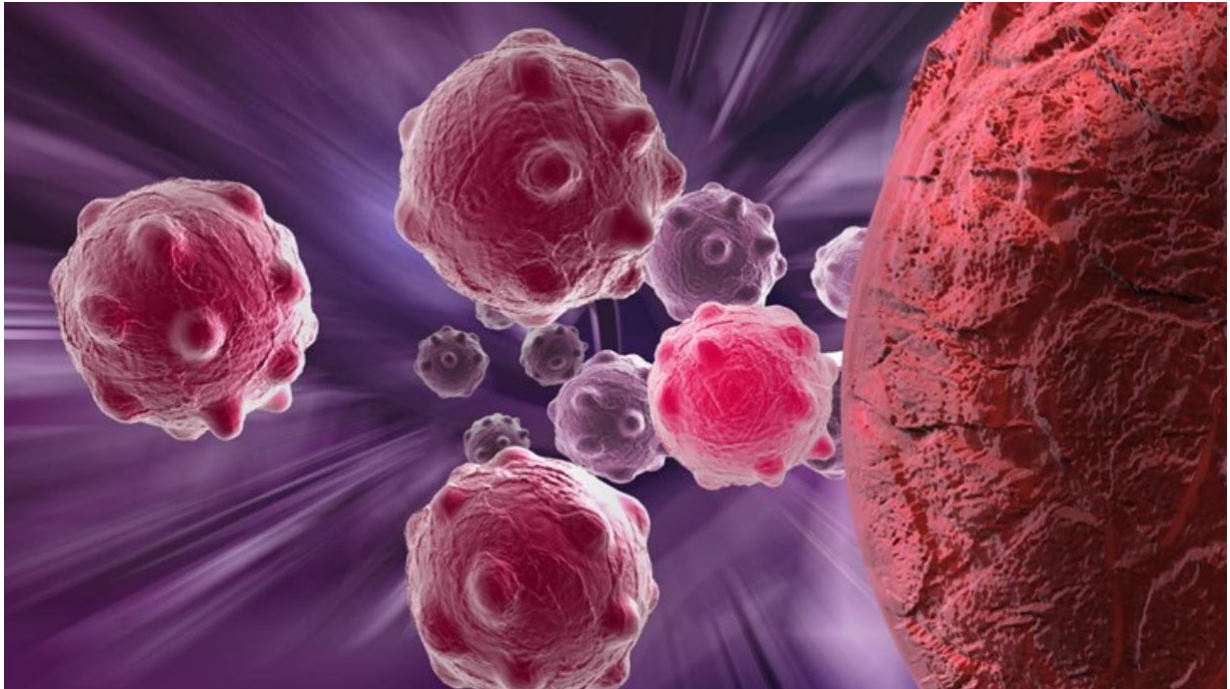
タンパク質を同定するための質量分析器を使って、便潜血検査よりも高感度な大腸癌新規バイオマーカーを便中から同定できたことが、医学雑誌 *Annals of Internal Medicine* に報告されました。



大腸癌患者、腺腫（大腸ポリープ）患者
および対照患者の便検体に対して、タンパク質を同定するための質量分析器を使って
大腸癌の新規バイオマーカーを調べた結果、大腸癌患者の便検体では対照便検体に
比べ、29種類のタンパク質が統計学的に
有意に増加していました。



そのうち4種類のタンパク質を組み合わせた場合の大腸癌および進行腺腫（癌に近いポリープ）の検出感度は80%と45%で、便潜血検査による検出感度よりそれぞれ有意に高い結果となりました。



これらの大腸癌新規バイオマーカーと大腸内視鏡検査の組み合わせにより、多くの大腸がんを早期診断に発見できる可能性が期待されます。

